

JALSG 第73回運営委員会 議事録

1. 日時：平成29年12月16日（土）15時15分から15時50分まで

場所：名古屋医療センター 外来・管理棟5階『講堂』

2. 議題：

1) 運営委員会成立報告

開会に先立ち、JALSG 代表宮崎氏より本会には運営委員出席 69 人、委任状出席 34 人、計 103 人の出席が得られ、全 126 構成施設選出委員の三分の二以上の出席となり JALSG 規約に基づき本運営委員会の成立が宣言された。

2) 研究費応募状況について

宮崎氏より AMED 研究費の応募状況、松村氏、伊藤氏、麻生氏を研究代表者として、それぞれ CML、GML、APL 研究に関する応募が行われたことが報告された。

3) 小児白血病グループとの連携について

宮崎氏より小児と成人での白血病共同研究の今までの経緯と現状について報告され、今後の方針、白血病研究における協力の推進および研究費獲得への協働を進めていくことが示された。今後、両研究グループ間の意思疎通を図るためのコア委員会(仮称)を設置しする事が提案され承認された。

4) 常設委員会報告

- セントラルレビュー委員会（染色体に関する委員会）委員長について、現委員長の谷脇氏に引き続きお願いすることが提案され承認された。
- データセンター委員会委員長について、長崎大学 佐藤信也氏の就任が承認された。
- 施設審査・監査委員会小林氏より国立国際医療研究センターの子施設として、東京北医療センターの参加が報告された。同センター 竹下昌孝氏より施設紹介が行われた。

5) 疾患別委員会報告

- 次期 CML 委員会メンバーについて日本大学 入山委員長より紹介された。

- 次期 AML 委員会委員長として九州大学 宮本氏が紹介された。
 - 次期 ALL 委員会委員長 山崎氏より小児グループとの連携を進めて行くことについて報告された。
 - CML207 委員会委員長 宮村氏より、同研究における予後観察において「治療拒否」「同意撤回」を区別して取り扱うプロトコール改訂が提案され承認された。
- 6) 各種プロジェクトの提案
- 筑波大学 千葉氏より MDS212 研究検体を用いた付随研究について提案され承認された。
 - 秋田大学 高橋氏より STIM213 研究に関する九州大学との共同研究につき提案され承認された。
- 7) 論文執筆状況・学会発表について
- 支持療法委員会委員長 藤田氏より AML201 研究での感染症に関する付随研究が横浜市立大学 加藤英明氏を筆頭著者とし **Supportive Care in Cancer** 誌に投稿予定である事が報告された。
- 8) データセンターについて
- 宮崎氏より金沢、長崎データセンターの現状、および臨床研究法の施行に伴う今後の臨床研究に関する規制の強化について説明が行われた。続いて今後の方向性として、名古屋医療センターデータセンターなど外部のデータセンターとの協力/委託、および外部データセンターとともに新たな試験実施・管理体制のもとでの臨床研究を進めていくことが示され、承認された。
- 9) 次回会議開催予定について
- 合同班会議・運営委員会：
- 2018年6月23日（土）名古屋大学医学部附属病院内

以上 （文責 JALSG 事務局長補佐 石川裕一）